

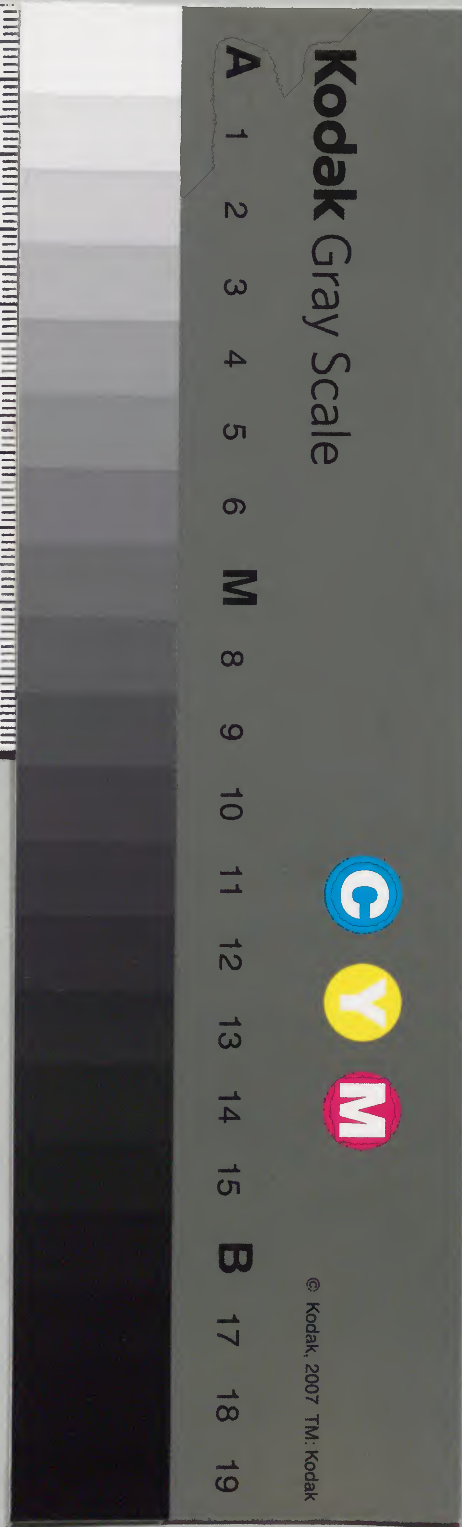
天保雜記

七

庫	文	閣	内
一五〇函	二五六冊	三一七二九號	和書類

七

内閣文庫	
番號	和 31729
冊數	56 (7)
函號	150 150



綴じ部(喉部分)の文字など開きが不鮮明な箇所あり

天保五年雜事録目錄

一 林家詩他

一 濱田庭拜見の記
廣徳寺の系女盜賊

一 四 桑野火焼七一件

一 六 下部八尋右馬の瓶と稱せしもの

一 六 戸田平右衛門家来主殺

一 七 杉平少羽書上納金

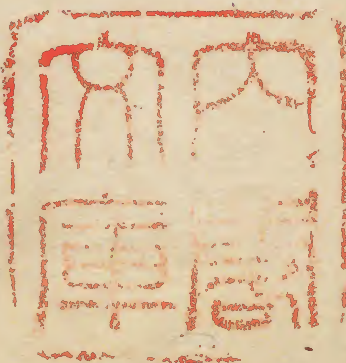
一 八 二九山所被西手傳

一 九 市川忠十郎狂歌

一 十 諸山酒造の作派

一 十一 山形書屋の支配書若一件

一 十二 小槻輔世昇進



- 一十三 杉平出羽守候分封火出書
- 一十四 大久保加賀守候分封火出書
- 一十五 紀別校書卷之九野遠く五昇進
- 一十六 河部伊孫守家十子向少所札等
- 一十七 伊奈友之助少代友而百封為七拾家出書
- 一十八 杉平右京亮出書
- 一十九 板倉河波守產物出書
- 二十 三浦甚太郎守神祇葬式并伺出所札
- 二一 所留出書付
- 二二 涉入替り之市出書不修家
- 二三 天保六正月而召料上車
- 二四 本堂因藏助家来一件
- 二五 湯馬出書替り并上修家

- 二六 薩列表来大田守与切腹一件
- 二七 平田大學屋列公出候持り古上夕几一件
- 二八 天保六正月十六日大名元官位并任階
- 二九 所留出書付
- 三十 小兒上連来而捨之伺
- 三一 筑後川出候後
- 三二 杉平右近出候出書不年限
- 三三 出小領出書味
- 三四 酒井出書守書又地領上葬式伺出附札
- 三五 服作楊抄書局楊燈後少書法出用掛
- 三六 知恩院宮札歌
- 三七 小林田左衛門守及場
- 三八 十月初月十四日迄一日記

- 一三九 松浦肥前守領分唐私漂石
- 一四〇 松平山城守出願
- 一四一 永振君孫山門極守出願
- 一四二 水戶孫山孫地守出願本方在安積
- 一四三 富江守孫押込一件
- 一四四 天保五十月出願戶口 仔有出列名
- 一四五 中尾切多切教一件
- 一四六 十月晦日分十月廿八日近之日記
- 一四七 高役金追之倍増
- 一四八 上野清波出願月一節一年
- 一四九 松平右近知事分榷金出願名記
- 一五〇 松平伯列出願出火月一節一年

一 恭陪濱苑 盛遊奉旨編觀苑內釣池魚

恩意隆渥 賜賚復疊不勝感激之至謹賦

長律二首以紀一時 寵采時天保五年八月二十三日

天邀 僊蹕便回晴窗簿排行出 大城日照松

林增瑞色風吹海浪助歡聲山池隨步應酬換其臺榭

仰看輪奐成豈料賞花釣魚與即今親過荷

恩采

錦纜樓船艤水濱偉雄氣象想橫汾豫遊有度侯
 堪則張弛協宜人悉欣路上鹽田煮滄海樹間禾壟
 刈黃雲景光不啻供觀美寫出一篇無逸文

林衡 盥手

具艸